

H30 計画の要点等の解答

計画の要点等の解答を表1に示す。

上記以外の出題が予測される計画の要点等について表2に示す。

従って、ここは、表1と表2を丸暗記して下さい。

表1 予測課題の計画の要点等の解答

・建築物及び建設用地の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。	
質 問	解 答
①住宅部門とカフェ部門へのアプローチについて、工夫したこと。	カフェ部門へのアプローチは、利用者からの視認性、誘導性を重視して、敷地中央とした。住宅部門は、カフェ部門との動線を明確に分離するため、西側からとし、カフェ部門との境に植栽を設けた。
②カフェスペースの計画について、工夫したこと。	カフェスペースは、視認性と通路が広くとれるように、テーブル席を入口内直近に整形で配置した。また、カウンター席は、容易に飲食を提供できるように、厨房に近接させて計画した。
③ルーフテラスの計画について、工夫したこと。	ルーフテラスは、日照・採光・通風の観点から、居間・食事・台所の南面に設けて、直接行き来できるようにした。また、東西に長く配置し、親夫婦寝室からも行き来できるようにした。

表2 その他の予測される計画の要点等の解答

質 問	解 答
建物の配置計画について、工夫したこと。	建物の配置計画は、住宅部分の環境確保とカフェ部分の道路面からの動線や視認性等を考慮して、北側で東西に長い整形の建物として配置した。
住宅からカフェへの内部動線について、工夫したこと。	住宅部分からカフェ部分への動線は、玄関から厨房へ防火戸を設けて、直接行き来できるようにした。
2階の居間・食堂・台所の計画について、工夫したこと。	2階の居間・食堂・台所は、二世帯が利用しやすく静寂性が保てるように、東側に配置し、南面にルーフテラスを計画して一体的な利用と共に、日照・採光・通風を確保した。
屋外カフェテラスの計画について、工夫したこと。	屋外カフェテラスは、通行人から視認できて利用しやすいように、カフェスペース南側で道路までの南東角部に計画した。
カフェ部分の厨房の計画について、工夫したこと。	厨房は、カフェスペースと屋外カフェテラスが一望できるように、北側に配置した。また、食料品保管庫と収納を西側に、流し台・調理台・コンロ台と配膳カウンターを東側と作業性から明確に分けた。
地域住民との交流について、工夫したこと。	地域住民の交流のしやすい環境となるように、屋外カフェテラスを道路東面に配置し、視認性と共に賑わいのある雰囲気がある歩行者へ伝わるように計画した。
高齢者の利用について、工夫したこと。	高齢者の利用への配慮は、生活動線がスムーズになるように、通路1.5m、引き戸とし、また廊下と居室の段差および居室とルーフテラスやバルコニーにウッドデッキを設けて段差をなくした。
寝室および子ども室について、工夫したこと。	2階親夫婦寝室、3階子夫婦寝室および子ども室は、日照・採光・通風などの生活環境性に配慮して、全て南面に計画した。
柱のスパン割りについて、工夫したこと。	柱のスパン割りは、最も長い距離で、柱1本当たりの構造負担が大きくなるよう経済性に配慮して、6m×7mスパンとした。
PSの配置について、工夫したこと。	1階と2階のPSは、2階と3階の便所、浴室等からの排水がしやすい距離で、同一の場所とした。